

政策目標	1	子どもの笑顔があふれる街						
重点課題	2	子どもが健やかに夢や希望を持って育つ環境の充実						
施策の基本方針								
<p>未来を担う子どもたちが、健やかに夢や希望を持って育つ環境づくりを進めるため、札幌らしい学校教育や子どもの社会参加を積極的に進めるとともに、ひきこもりやニートの若者の社会的自立を支援します。また、子どもと家庭の相談窓口の充実や、不登校の子ども の状況に応じた支援を行うほか、民間と積極的に連携して、子どもの育ちや学びを支える環境を整えます。</p>								
計画事業費の執行状況								
施策番号	事業名	計画事業費	事業費(単位:千円)				合計	進捗率(%)
			23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)		
施策1 学びの意欲を育てる学校教育の推進								
	札幌らしい特色ある学校教育推進事業	36,000	6,499	5,663	7,839	10,703	30,704	85.3
	さっぽろ学校給食フードリサイクル	5,000	506	1,117	808	1,276	3,707	74.1
	子どもの読書活動サポート事業	13,000	2,667	2,619	2,744	3,444	11,474	88.3
	図書資源ネットワーク事業	46,000	2,571	3,218	2,218	2,539	10,546	22.9
	幼児絵本ネットワークセンター事業	9,900	5,991	819	874	656	8,340	84.2
	子ども読書チャレンジプロジェクト	28,000	6,908	6,982	6,390	6,692	26,972	96.3
	市立中高一貫教育校の設置	3,919,000	8,190	79,713	834,544	3,225,353	4,147,800	105.8
	人権教育推進事業	8,000	2,000	1,442	1,950	1,819	7,211	90.1
	国際理解教育推進事業(外国語指導助手配置)	180,000	18,000	36,000	54,000	72,500	180,500	100.3
	職業観育成事業【再掲】	20,000	2,980	3,580	3,580	3,967	14,107	70.5
施策2 健やかな育ちの推進								
	心のサポーター配置モデル事業	212,000	0	18,561	44,208	93,963	156,732	73.9
	スクールカウンセラー活用事業	60,000	10,246	12,608	15,756	18,180	56,790	94.7
	スクールソーシャルワーカー活用事業	14,000	2,092	3,138	4,184	5,180	14,594	104.2
	教育支援センターの設置	44,000	0	991	13,470	23,820	38,281	87.0
	子どもの学びの環境づくり	55,000	540	5,124	7,281	9,100	22,045	40.1
	一人一人が学び育つための教育的支援の充実	83,000	11,823	17,696	23,702	26,620	79,841	96.2
	子ども安心ホットラインの設置	42,000	5,545	9,676	9,932	9,806	34,959	83.2
	オレンジリボン協力員制度の創設	6,000	0	1,022	2,093	585	3,700	61.7
	区家庭児童相談室の設置および区役所と児童相談所の連携強化	9,000	0	2,562	3,120	2,990	8,672	96.4
	一時保護所の定員拡充・環境改善	387,000	0	3,675	9,045	15,875	28,595	7.4
	施設に入所している子への学習・就労支援	13,000	178	3,979	2,777	4,754	11,688	89.9
	家庭的な養育環境の整備	431,000	14,289	8,000	0	0	22,289	5.2

注:事業費下線部は、前年繰り越し分を含めた額

政策目標	1	子どもの笑顔があふれる街						
重点課題	2	子どもが健やかに夢や希望を持って育つ環境の充実						
計画事業費の執行状況								
施策番号	事業名	計画事業費	事業費(単位:千円)				合計	進捗率(%)
			23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)		
施策3 子どもの権利の推進と自立を支援する環境づくり								
	子どもの権利の推進	30,000	7,204	6,652	11,360	6,069	31,285	104.3
	児童会館・ミニ児童会館における子ども運営委員会の活動支援	6,000	0	1,000	1,000	1,000	3,000	50.0
	ミニ児童会館等の新設【再掲】	535,000	66,232	182,250	142,787	153,436	544,705	101.8
	プレーパーク推進事業	12,000	2,433	2,940	3,755	3,992	13,120	109.3
	子ども学習農園の新設	55,000	0	2,297	25,569	15,885	43,751	79.5
	地域を支える子ども・企業連携事業【再掲】	6,000	1,231	1,313	1,261	1,281	5,086	84.8
	Kitaraファーストコンサートの実施	92,000	23,223	22,062	20,959	19,911	86,155	93.6
	子どものミュージカル鑑賞事業の拡充	2,000	0	558	2,423	2,509	5,490	274.5
	子どもの美術体験事業の拡充	10,000	2,500	2,375	2,256	2,143	9,274	92.7
	青少年科学館展示物整備事業	160,000	39,900	0	79,800	39,999	159,699	99.8
	ひきこもりやニートなど困難を有する若者の社会的自立支援事業	103,000	30,046	41,456	5,837	6,024	83,363	80.9
合計		6,631,900	273,794	491,088	1,347,522	3,792,071	5,904,475	89.0

注:事業費下線部は、前年繰り越し分を含めた額

政策目標	1	子どもの笑顔があふれる街				
重点課題	2	子どもが健やかに夢や希望を持って育つ環境の充実				
達成目標の状況						
事業名 達成目標	22年度末 (現状値)	23年度末 (実績値)	24年度末 (実績値)	25年度末 (実績値)	26年度末 (実績値)	26年度末 (目標値)
施策1 学びの意欲を育てる学校教育の推進						
札幌らしい特色ある学校教育推進事業						
1 農業体験を実施した小中学校数	10校	20校	30校	30校	30校	30校
さっぽろ学校給食フードリサイクル						
2 リサイクル堆肥を活用して栽培活動に取り組む学校数	74校	95校	115校	152校	159校	202校
子どもの読書活動サポート事業						
3 学校図書館ボランティアの派遣校数	中学校92校	小中学校185校	小中学校185校	小中学校185校	小中学校177校	小中学校185校
図書資源ネットワーク事業						
4 年間貸出冊数	—	845冊	617冊	977冊	1,089冊	30,000冊
幼児絵本ネットワークセンター事業						
5 絵本貸出冊数	—	921冊	2,887冊	3,347冊	6,219冊	6,000冊
子ども読書チャレンジプロジェクト						
6 幼児・児童1人あたりの年間児童書貸出冊数	10.4冊	11.0冊	10.8冊	10.0冊	10.4冊	13.0冊
市立中高一貫教育校の設置						
7 中高一貫教育校設置	—	準備	校舎設計	校舎建設	校舎竣工 (H27.4.1開校)	校舎竣工 (H27.4.1開校)
人権教育推進事業						
8 人権教育に関わる体験的な学習の実施校	85校	95校	109校	122校	134校	120校
国際理解教育推進事業(外国語指導助手配置)						
9 ALTの配置数	58人	63人	68人	73人	78人	78人
職業観育成事業【再掲】						
10 疑似体験プログラムを実施したクラス数	—	10クラス	12クラス	12クラス	21クラス	18クラス
施策2 健やかな育ちの推進						
心のサポーター配置モデル事業						
11 心のサポーターの配置校	—	—	22校	45校	107校	107校
スクールカウンセラー活用事業						
12 小学校への配置時間数	36時間	45時間	48時間	51時間	54時間	54時間
スクールソーシャルワーカー活用事業						
13 スクールソーシャルワーカーの配置数	3人	5人	6人	7人	8人	8人
教育支援センターの設置						
14 教育支援センターの設置数	—	—	—	1カ所	2カ所	2カ所
子どもの学びの環境づくり						
15 フリースクール等に対する支援のしくみの創設	—	検討中	制度創設	—	—	制度創設 (24年度)
一人一人が学び育つための教育的支援の充実						
16 特別支援教育支援員の活用校数	230校	243校	248校	255校	267校	303校
子ども安心ホットラインの設置						
17 児童相談所における24時間365日の相談受付体制の整備	—	整備	—	—	—	整備 (23年度)
オレンジリボン協力員制度の創設						
18 オレンジリボン協力員登録数	8,952人	9,827人	11,223人	12,549人	13,625人	13,000人
区家庭児童相談室の設置および区役所と児童相談所の連携強化						
19 家庭児童相談室の設置	—	10区	10区	10区	10区	10区 (23年度)
一時保護所の定員拡充・環境改善						
20 一時保護所の定員拡充	36人	36人	36人	36人	36人	50人
施設に入所している子への学習・就労支援						
21 登録ボランティア数	—	19人	49人	58人	74人	80人
22 就職希望者の内定率の向上	54.5%	54.5%	83.3%	80.0%	85.7%	80%
家庭的な養育環境の整備						
23 ファミリーホームの設置箇所数	3カ所	4カ所	5カ所	6カ所	8カ所	5カ所
24 児童養護施設の改築(ケア単位の小規模化)	—	—	—	—	—	1カ所

政策目標	1	子どもの笑顔があふれる街					
重点課題	2	子どもが健やかに夢や希望を持って育つ環境の充実					
達成目標の状況							
事業名 達成目標		22年度末 (現状値)	23年度末 (実績値)	24年度末 (実績値)	25年度末 (実績値)	26年度末 (実績値)	26年度末 (目標値)
施策3 子どもの権利の推進と自立を支援する環境づくり							
子どもの権利の推進							
25	子どもサポーター養成講座受講者数	47人	104人	174人	176人	82人	80人
26	子どもの権利推進アドバイザー派遣回数	9回	10回	17回	7回	5回	24回
児童会館・ミニ児童会館における子ども運営委員会の活動支援							
27	子ども運営委員会事業参加延べ人数	37,706人	40,768人	42,178人	43,223人	57,932人	47,000人
ミニ児童会館等の新設【再掲】							
28	放課後の居場所のある小学校校区数	164校区	169校区	178校区	187校区	197校区	202校区
プレーパーク推進事業							
29	プレーパーク開催回数	—	年57回	年153回	年171回	年100回	年100回
子ども学習農園の新設							
30	体験農園利用学校数	20校	20校	20校	20校	25校	25校
地域を支える子ども・企業連携事業【再掲】							
31	子ども一日まちセン所長数(累計)	—	18人	33人	58人	79人	40人
32	地域と連携するコンビニ店舗数	—	164店舗	166店舗	176店舗	178店舗	40店舗
Kitaraファーストコンサートの実施							
33	児童の参加率	96.3%	96.0%	98.2%	97.3%	97.3%	現状維持
子どものミュージカル鑑賞事業の拡充							
34	希望した児童の鑑賞者の割合	91.9%	91.2%	91.8%	100%	100%	100%
子どもの美術体験事業の拡充							
35	おとどけアート事業実施校数	3校	3校	3校	3校	4校	現状維持
36	ハロー！ミュージアム事業実施校数	82校	160校	182校	175校	202校	202校
青少年科学館展示物整備事業							
37	観覧者数	358,112人	373,619人	366,679人	65,304人 (11ヵ月間休館)	440,392人	400,000人
ひきこもりやニートなど困難を有する若者の社会的自立支援事業							
38	若者支援総合センターの移転整備	—	移転先及びレイアウトの決定	整備	—	—	整備 (24年度)
39	若者支援総合センターにおける相談件数	2,706件	3,082件	4,341件	5,111件	4,458件	4,500件

政策目標	1	子どもの笑顔があふれる街					
重点課題	2	子どもが健やかに夢や希望を持って育つ環境の充実					
さっぽろ“えがお”指標の動向							
さっぽろ“えがお”指標 実績値の推移に係る検証	(現状値)	23年度末 (実績値)	24年度末 (実績値)	25年度末 (実績値)	26年度末 (実績値)	(目標値)	
市民意識・行動指標							
9	学校で好きな授業があるという子どもの割合	87.4% (22年度)	93.0% (23年度)	81.0% (24年度)	92.1% (25年度)	91.4% (26年度)	95% (26年度)
		23年度末の実績値からほぼ横ばいで推移している。目標値に届かなかった一因として、学習に苦手意識のある子どもの学習意欲を十分に高められていないことが推察される。今後、少人数指導の取組をより一層推進するなど、「分かる・できる・楽しい授業づくり」に取り組む。					
10	子どもが自然、社会、文化などの体験をしやすい環境であると思う人の割合	子ども 42.4% 大人 55.4% (21年度)	子ども 60.9% 大人 57.3% (23年度)	子ども 60.5% 大人 63.9% (24年度)	子ども 62.7% 大人 60.7% (25年度)	子ども 72.1% 大人 60.8% (26年度)	子ども 60% 大人 60% (26年度)
		地域の団体やNPOなどと連携した、様々な体験機会の創出・拡充が、目標値の達成につながったと考えられる。					
11	自分のことが好きだと思う子どもの割合	53.2% (21年度)	60.3% (23年度)	61.6% (24年度)	59.4% (25年度)	63.1% (26年度)	70% (26年度)
		子どもの体験活動や参加機会の拡充を進め、数値は上昇傾向にあるものの、目標値には至らなかった。今後も、子どもが地域社会に見守られ、信頼関係を築くことができる環境づくりを一層推進する必要がある。					
12	特別な配慮を要する子どもの支援体制が整っていると思う人の割合	41.8% (22年度)	34.3% (23年度)	38.3% (24年度)	39.5% (25年度)	45.8% (26年度)	60% (26年度)
		数値は上昇傾向にあり、児童虐待防止・早期対応体制強化などの取組が徐々に認知されてきていると推察される。しかし目標値には至っておらず、今後も、より一層取組の充実と効果的な情報発信を進める必要がある。					
13	子どもの権利が守られていると思う人の割合	子ども 48.3% 大人 48.4% (21年度)	子ども 65.7% 大人 43.5% (23年度)	子ども 66.5% 大人 49.2% (24年度)	子ども 70.8% 大人 46.1% (25年度)	子ども 63.6% 大人 50.1% (26年度)	子ども 60% 大人 60% (26年度)
		子どもについては目標値を達成しており、大人については目標値には到っていないものの、計画期間内の最高値となった。子どもの権利の理解促進・普及に向けた取組の結果が一定程度反映されていると考えられる。					
社会成果指標							
14	学習や特別活動等で保護者や地域の人材等を活用している学校の割合	83.9% (22年度)	86.6% (23年度)	94.6% (24年度)	95.3% (25年度)	96.3% (26年度)	100% (26年度)
		数値は着実に増えているが、目標値には至らなかった。内訳として、小学校が100%なのに対して、中学校は88.7%であったことから、今後は、中学校が抱える課題に即した外部人材の活用に関する情報を提供するなどして活用促進を図っていく。					
15	不登校児童・生徒の出現率	1.23% (22年度)	1.24% (23年度)	1.20% (24年度)	1.31% (25年度)	1.37% (26年度)	1.10%未満 (26年度)
		26年度の数値は、前年度を上回っており、目標値に至っていない。今後とも、不登校の発生を防ぐ魅力あるよりよい学校づくりや長期化を防ぐ初期段階からの支援等、一人一人の状況に応じたきめ細かな支援に取り組む必要がある。					
16	児童虐待受付処理件数	478件 (22年度)	437件 (23年度)	435件 (24年度)	402件 (25年度)	1,159件 (26年度)	430件 (26年度)
		区家庭児童相談室や関係機関等との連携した取組の推進により、数値は減少傾向にあったが、26年度より、警察からのDV通告に伴う心理的虐待も認定したことから、大幅増となっている。					
17	困難を有する若者が自立に向けて支援機関を利用し、職業訓練への参加や進路決定した割合	45% (22年度)	49.1% (23年度)	51.0% (24年度)	46.5% (25年度)	44.6% (26年度)	55% (26年度)
		進路決定者数は年々増加傾向にあるものの、支援機関の認知度向上などにより新規登録者数・相談件数が大幅に増加したことで、割合は低下している。					

注:番号は、さっぽろ“えがお”指標の通し番号

政策目標	1	子どもの笑顔があふれる街
重点課題	2	子どもが健やかに夢や希望を持って育つ環境の充実
事業実績、評価、今後の取り組み等		
施策1	学びの意欲を育てる学校教育の推進	
26年度の主な取組内容(実績)		
農業体験を30校で継続して行い、引き続き特色のある学校教育を推進。	引き続き図書館ボランティアの派遣を実施。	
中高一貫教育校について、27年度の開校に向け、新校舎建設及び開校準備を実施。	外国人指導助手(ALT)を5名増員配置。	
施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の状況からみた事業の評価		
<p>【さっぽろ学校給食フードリサイクル】リサイクル堆肥を活用して栽培した作物を収穫したり、調理実習を通じて食したりするなど、循環型社会の仕組みを体験して学ぶ取組が、「子どもが、自然、社会、文化などの体験しやすい環境であると思う人の割合」の向上に寄与していると考えます。</p> <p>【子ども読書チャレンジプロジェクト】子どもの発育段階に応じた体験事業やイベントへの参加が、子どもが読書をするきっかけとなり、家庭や学校での読書推進の一助となっていると考えます。読書を通じて新たな興味や関心が生まれ、「学校で好きな授業がある」という子どもの割合」の向上につながっていくと考えます。</p>		
施策2	健やかな育ちの推進	
26年度の主な取組内容(実績)		
心のサポーターを配置(小学校10名、中学校97名)。	小学校へのスクールカウンセラーの配置時間を3時間増(計54時間/年)。	
スクールソーシャルワーカーを8名配置(1名増)。	ちえりあ内に教育支援センター宮の沢を設置。	
不登校児童生徒の受け皿となっているフリースクール等民間施設を運営する6団体に対し助成を実施。	児童養護施設へ、学習支援を行う「スタディメイト」や就労支援にあたる「就労支援コーディネーター」を派遣。	
施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の状況からみた事業の評価		
<p>【教育支援センターの設置】教育支援センターの設置により、学校に通うことが難しい児童生徒の通室も見られ、不登校が長期化している児童生徒の状況改善に資することができたと考えます。</p> <p>【施設に入っている子への学習・就労支援】児童養護施設において、家庭で学習の機会が十分に得られなかった児童や就労を目指す児童に対し、学習支援や就労支援を行うことで、特別な支援を要する子どもへの支援体制強化につながっている。</p>		
施策3	子どもの権利の推進と自立を支援する環境づくり	
26年度の主な取組内容(実績)		
子どもの権利について広報・普及等を継続するとともに、「第2次札幌市子どもの権利に関する推進計画」を策定。	プレーパークの実施団体に対するプレーリーダー派遣等活動支援事業の充実。	
子ども学習農園(食育広場含む)の整備完了。	「子どものミュージカル鑑賞事業」を希望する全ての小学校(6年生)に実施。	
小学校に様々なジャンルのアーティストを派遣する「おとどけアート事業」を4校に実施。	困難を有する若者に対し、進路支援の継続や就労支援をサポートするボランティアの募集・育成により、伴走型支援を実施。	
施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の状況からみた事業の評価		
<p>【児童会館・ミニ児童会館における子ども運営委員会の活動支援】児童会館でのルールづくりや様々な事業の企画運営に関わる機会の拡充により、子どもたちの自己肯定感の醸成や子どもの権利の推進に寄与していると考えます。</p> <p>【青少年科学館展示物整備事業】子どもたちが楽しく学ぶことができ、自ら体験し、考え、創造・発展させていくような学習機会を提供できるよう、展示物の更新を進めたことで、子どもが体験しやすい環境づくりに貢献できた。</p>		
協働の状況		
【札幌らしい特色ある学校教育推進事業】札幌近郊の自治体等とも連携を図り、新たな農業体験の受入先を増やしている。		
【人権教育推進事業】学校外の人材については、人権に関する専門家やアイヌの方など、市民との連携のもとで事業を実施している。		
【児童会館・ミニ児童会館における子ども運営委員会の活動支援】子ども運営委員会が実施する事業等について、企業の協力を得て実施することで、子どもたちの活動の幅を広げることにつながっている。		
【青少年科学館展示物整備事業】来館者アンケートの意見などを踏まえ、来館者が楽しく分かりやすく理解できるような体験型の展示物を導入している。		